



# かわい

令和4年6月30日



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawai/>

## しつけの三原則

児童支援専任 大門 貴之

「しつけの三原則」と言われるものがあります。

明治生まれの教育者であり「国民教育の父」とも呼ばれる故 森信三氏が挙げていたものです。

森氏が挙げていた3つとは、「1.朝、必ず親に挨拶をする子にすること」「2.親に呼ばれたら必ず、「ハイ」とハッキリ返事のできる子にすること」「3.ハキモノを脱いだら、必ずそろえ、席を立ったら必ずイスを入れる子にすること」です。日常生活のことです。

昨年度担任していた3年1組では、これらの言葉を子どもたちにもう少し短い言葉で伝えました。

### 生活の基本三原則

①あいさつ

②返事

③あとしまつ

(くつをそろえる・イスをしまう)

「これら3つがしっかりとできている人は、生活の基本ができています。」

「誰でもできることです。できていない人は、できるようになりなさい。」

といったように話をしました。

これら3つができている子をうんと褒めました。基本であっても、できていれば大変立派なことです。後始末ができていない子がいたときには、みんなで声を掛け合ってできるようになりました。

生活リズムが乱れるリスクのある夏休み。その前に、ご家庭でもこの3原則を確認することをお勧めします。